

町並みと自然環境を 守り育むまちづくり

国選定重要伝統的建造物群保存地区の景観向上

平成24年12月、郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

120の建築物、32の工作物、10件の環境物件が特定物件に指定されており、修理・修景を行っています。併せて、市街地の景観向上のため、無電柱化や、防災計画に基づき、耐震性貯水槽の設置、景観に配慮した消火栓の整備なども進めています。

今後も、伝統的建造物群保存地区と特定物件を中心に郡上八幡の町並みを紹介する施設を整備するとともに、古きよき町並みの魅力発信を進めていきます。



郡上市景観条例の制定と景観計画の策定

豊かな自然景観や歴史的町並みの景観を保全し、それらを活かした良好な景観形成を図るため、郡上市景観条例を制定し、建築や開発行為にかかる届出の規模の明確化や景観基準の遵守等についての規定を設けました。

景観条例の制定、景観計画の策定により、郡上市内の景観イメージを損なうことなく、各地域の活性化並びに地域住民の心の拠り所としての景観保全につながっています。

今後も、景観形成重点地区における景観計画の策定や景観形成住民協定の締結を促進します。また、景観計画策定等の後、景観デザインガイドブックの作成を進めます。

郡上の自然を活かしたエネルギーの活用

郡上市の豊かな森と水などの地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入促進を通じて、持続的な循環型社会の構築に取り組んでいます。

・小水力発電事業

郡上市の豊かな水資源を活用し、環境にやさしい小水力発電施設の整備を進めています。

小水力発電により発電した電気を販売し、その売電益は施設の維持管理と市内農業用水の維持管理に活用します。

・木質バイオマスボイラー導入事業

未利用材や間伐材などの資源の有効活用を目的として、また、明宝温泉湯屋館及び明宝デイサービスセンターの灯油燃料費の削減のため木質バイオマスボイラー設備を整備しました。森林資源の活用とともに、薪の供給を担う民間団体の雇用創出につながっており、今後も燃料資材の安定供給等について検討を行っていきます。

・木質燃料ストーブ購入補助制度

木材を燃料として使用するストーブの購入支援を行うことにより、利用期を迎える森林資源のエネルギーとしての活用と、森林環境の保全、地球温暖化防止に取り組んでいます。



郡上市清流長良川等保全条例の制定

長良川をはじめとする市内の清流を守り育て次の世代へ継承するため、その保全に関する基本理念を定め、市民、事業者及び市が協働し、共有の財産として保全することを目的に「郡上市清流長良川等保全条例」を制定しました。

「郡上市清流シンポジウム」や「郡上市清流環境フォトコンテスト」の開催、啓発看板の設置などの啓発事業や、河川等に生息する特定外来植物の駆除を実施しています。

今後も、郡上市清流長良川等保全条例の理念の具現化のため啓発・周知を継続して実施していきます。

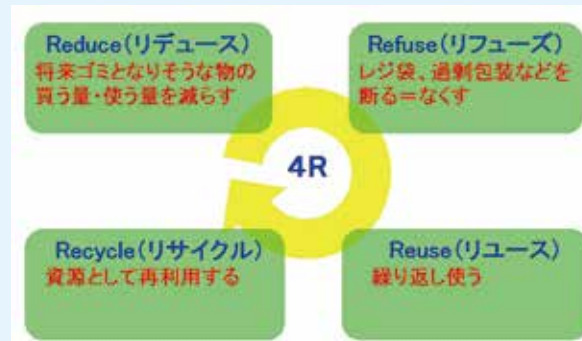


4R(リデュース、リフューズ、リユース、リサイクル)運動・汚泥の再利用の推進

廃棄物の適正な処理と資源循環型社会の形成を推進するため、4R運動の推進と啓発を実施しています。また、し尿等の汚泥を堆肥化し再利用する「郡上コンポスト」の生産を行っており、資源循環型社会の形成に取り組んでいます。

核家族化や少子高齢化、人口減少等、社会情勢が変化中、4R運動の推進等により、可燃ごみは微減の状況となっています。

ごみの分別方法の見直しにより処理にかかる費用の軽減を図るとともに、再生利用による資源循環を推進し、生活環境の保全を図っていきます。



郡上市環境団の設立

自然豊かな水辺づくり活動、森林環境の保全活動、野生生物の保護活動、楽しみながら学べる環境教育活動などを推進するため、郡上市環境団を設立しました。

地球温暖化防止等のシンポジウム、環境フェアの開催や、各地域のふるさと祭りへの出展により、環境団活動の啓発を行っています。また、自然環境を守り、環境保全や環境教育に寄与された方の表彰を行っています。

今後も、継続的な啓発活動を行い、郡上市の豊かな自然環境の保全に取り組めます。

郡上クリーンセンターの建設



一般廃棄物の適正な処理のため、郡上クリーンセンターを建設しました。また、旧廃棄物処理施設の解体により所在地の生活環境の保全も図っています。

上下水道施設の整備



安全で快適な生活環境の確保と、河川の水質保全のため、上下水道施設の整備を進めています。

郡上市マンホールカードの配布



マンホールカードを通じた郡上市の新たな魅力発信や下水道事業の啓発活動を行っています。